

# 木材需給動向について (全国)

2023年8月

林野庁

全国の木材需給動向について、  
林野庁ウェブサイト（下記URL）にて  
毎月資料を更新しています。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/mokusan/ryutsu/kyouqikai.html>  
(QRコードからもアクセスできます。)



さらに・・・

林産物に関するマンスリーレポート「モクレポ」  
木材・木材製品、特用林産に関する最新の統計  
データや、林野庁の施策に関するトピックス、セ  
ミナー・イベントの情報などを取りまとめ、毎月  
中旬に更新しています。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/toukei/monthlyreport.html>  
(QRコードからもアクセスできます。)



# 目次

---

## 1 価格の動向

### (1) 原木価格 (原木市場・共販所)

ア スギ (全国)

イ ヒノキ (全国)

### (2) 製品価格

## 2 工場の原木等の入荷、製品の生産等の動向

### (1) 製材 (全国)

### (2) 合板 (全国)

### (3) チップ (全国)

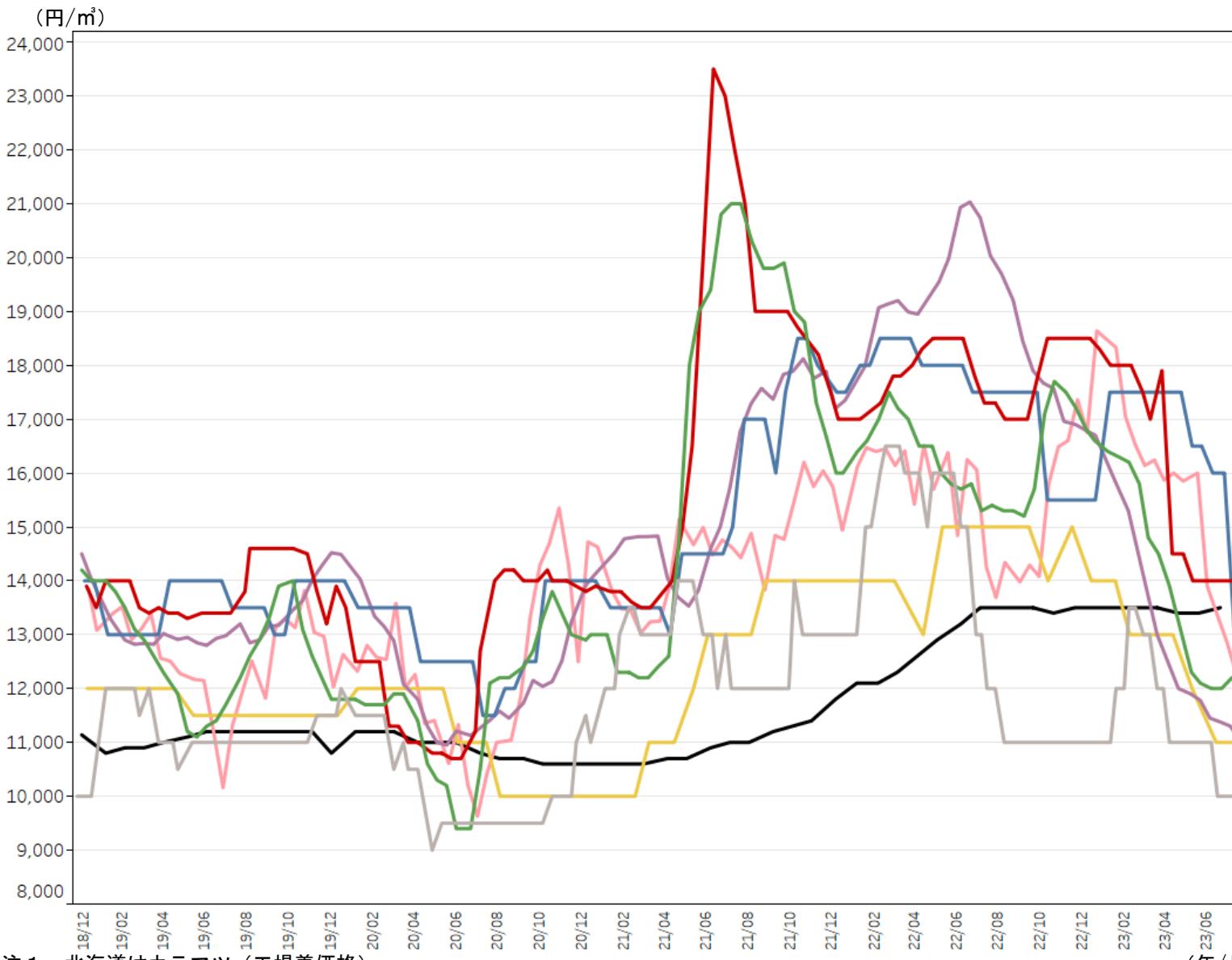
## 3 住宅着工戸数の動向

## 4 木材輸出量

# 1 価格の動向 (1) 原木価格 (原木市場・共販所)

## ア スギ (全国) 径24cm程度、長3.65~4.0m (2018年12月~)

- 全国の原木市場・共販所において、直近のスギ原木価格は、10,000円~14,000円/m<sup>3</sup>となっている。

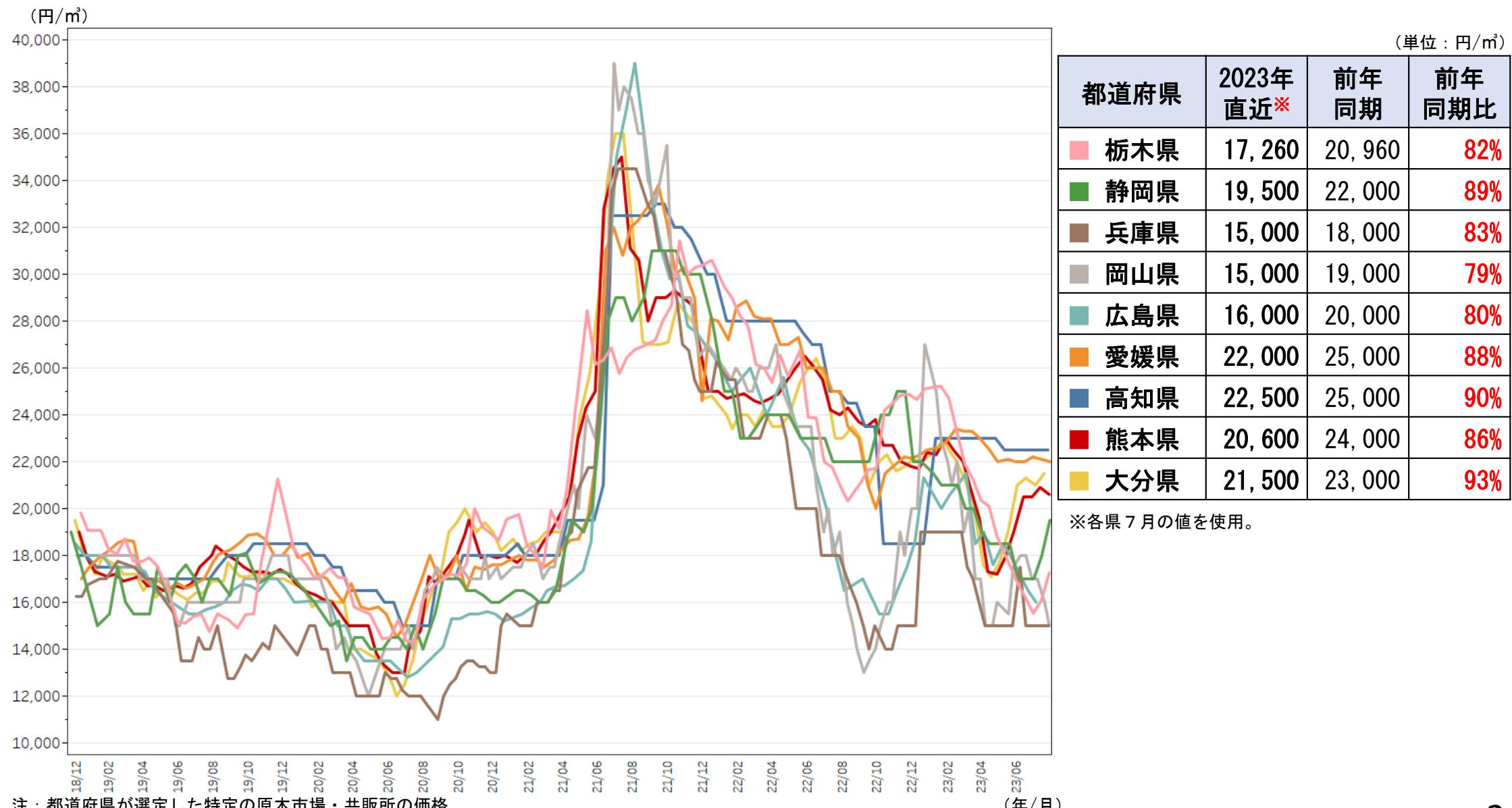


都道府県	2023年直近*	前年同期	前年同期比
■ 北海道	13,500	13,200	102%
■ 秋田県	11,000	20,030	55%
■ 栃木県	11,600	13,690	85%
■ 長野県	11,000	15,000	73%
■ 岡山県	10,000	12,000	83%
■ 高知県	13,000	17,500	74%
■ 熊本県	14,000	17,300	81%
■ 宮崎県	12,200	15,400	79%

\*北海道については6月、秋田県、栃木県、長野県、岡山県、高知県、熊本県及び宮崎県については7月の値を使用。

# イ ヒノキ (全国) 径24cm程度、長3.65~4.0m (2018年12月~)

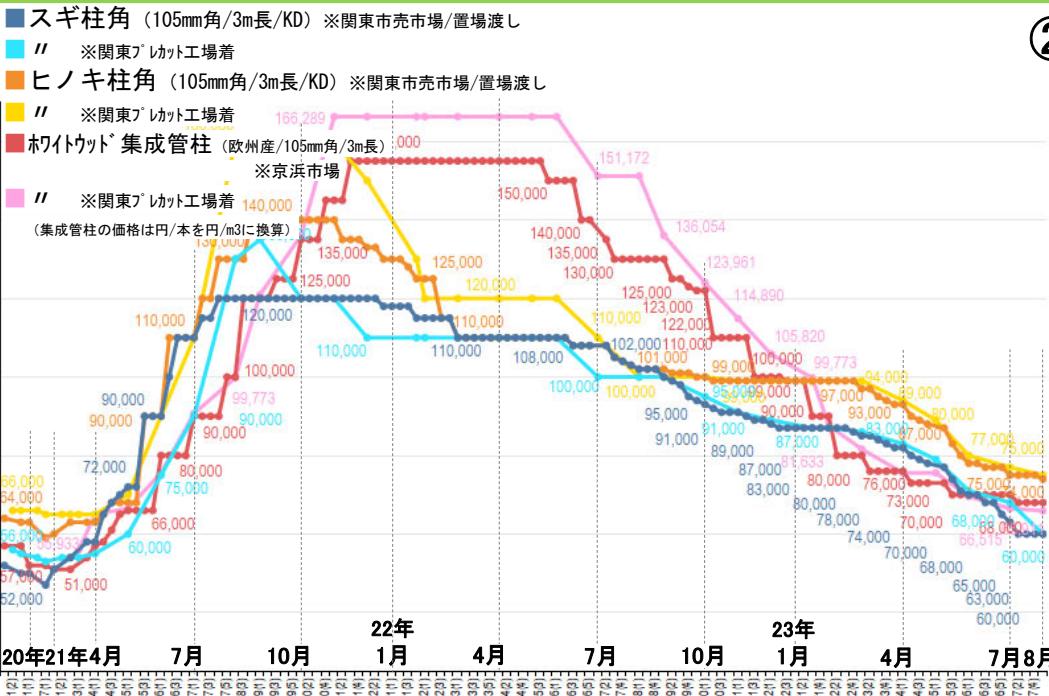
- 全国の原木市場・共販所において、直近のヒノキ原木価格は、15,000円~22,500円/m<sup>3</sup>となっている。



## (2) 製品価格

- 令和3年（2021年）は、世界的な木材需要の高まり等により輸入材製品価格が高騰し、代替需要により国産材製品価格も上昇。令和4年（2022年）以降も、以前に比べて高値圏で推移。

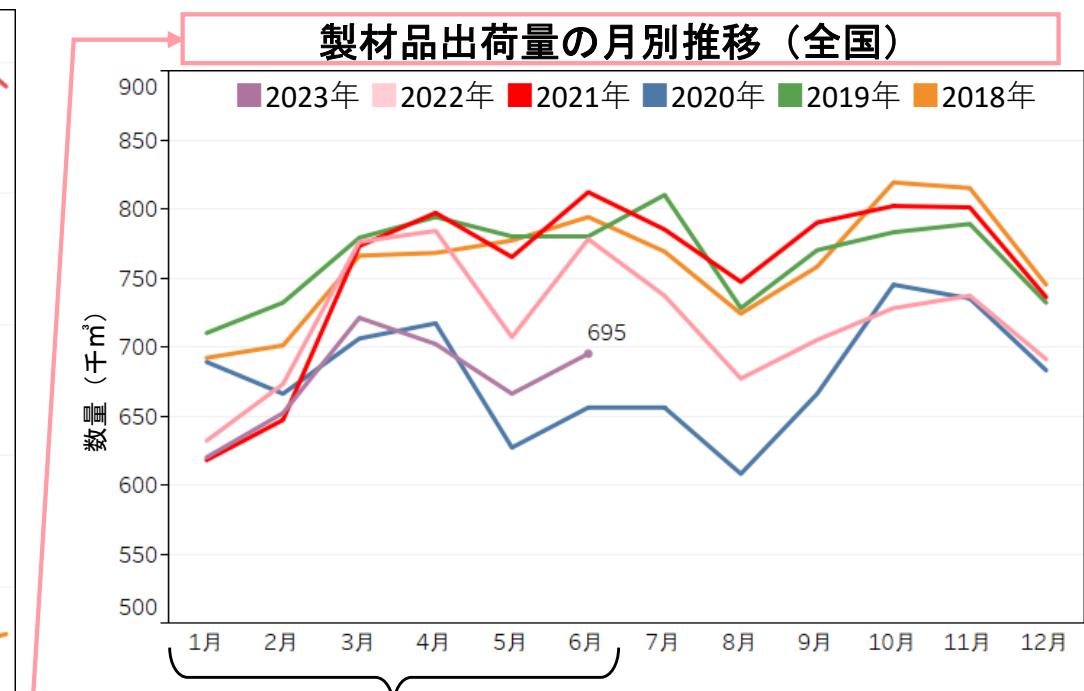
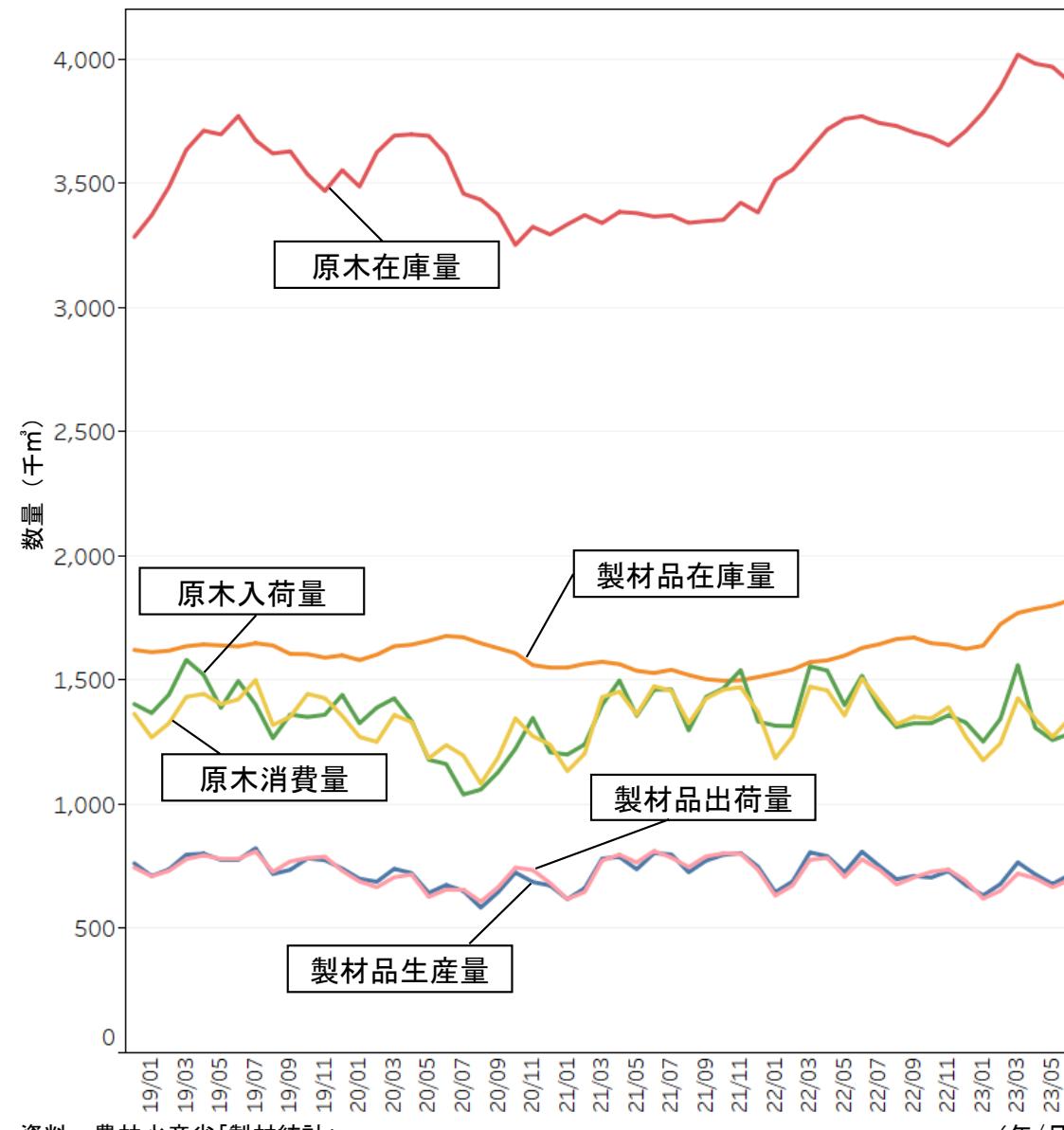
### ①柱



## 2 工場の原木等の入荷、製品の生産等の動向

### (1) 製材（全国）

- 2023年1～6月の原木の入荷量は8,006千m<sup>3</sup>（2019年比91%）。
- 同様に製材品の出荷量は4,056千m<sup>3</sup>（2019年比89%）。

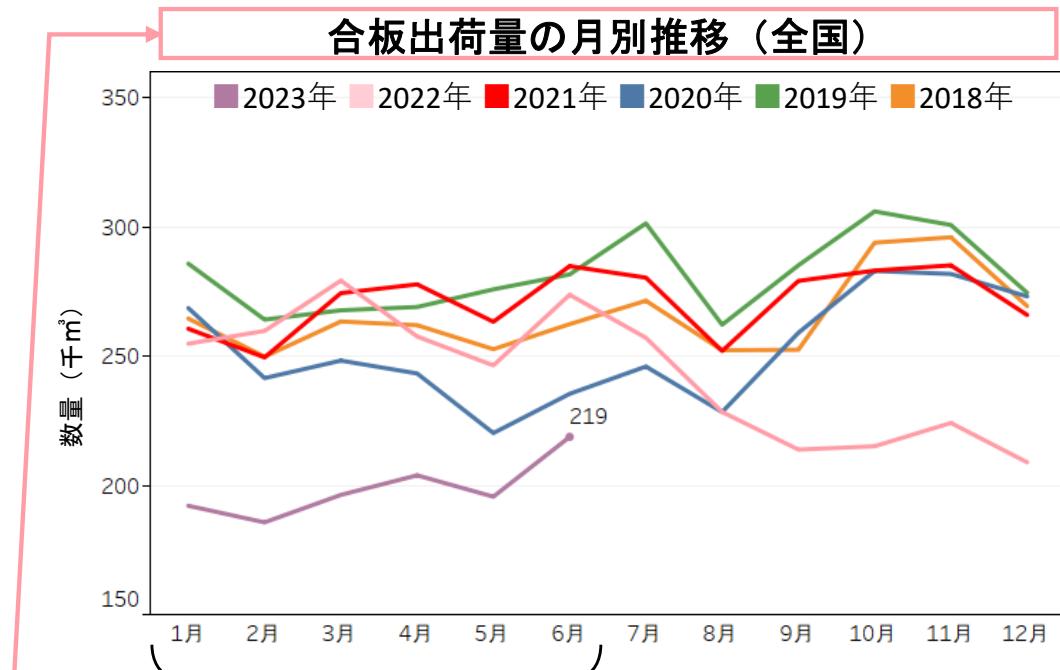
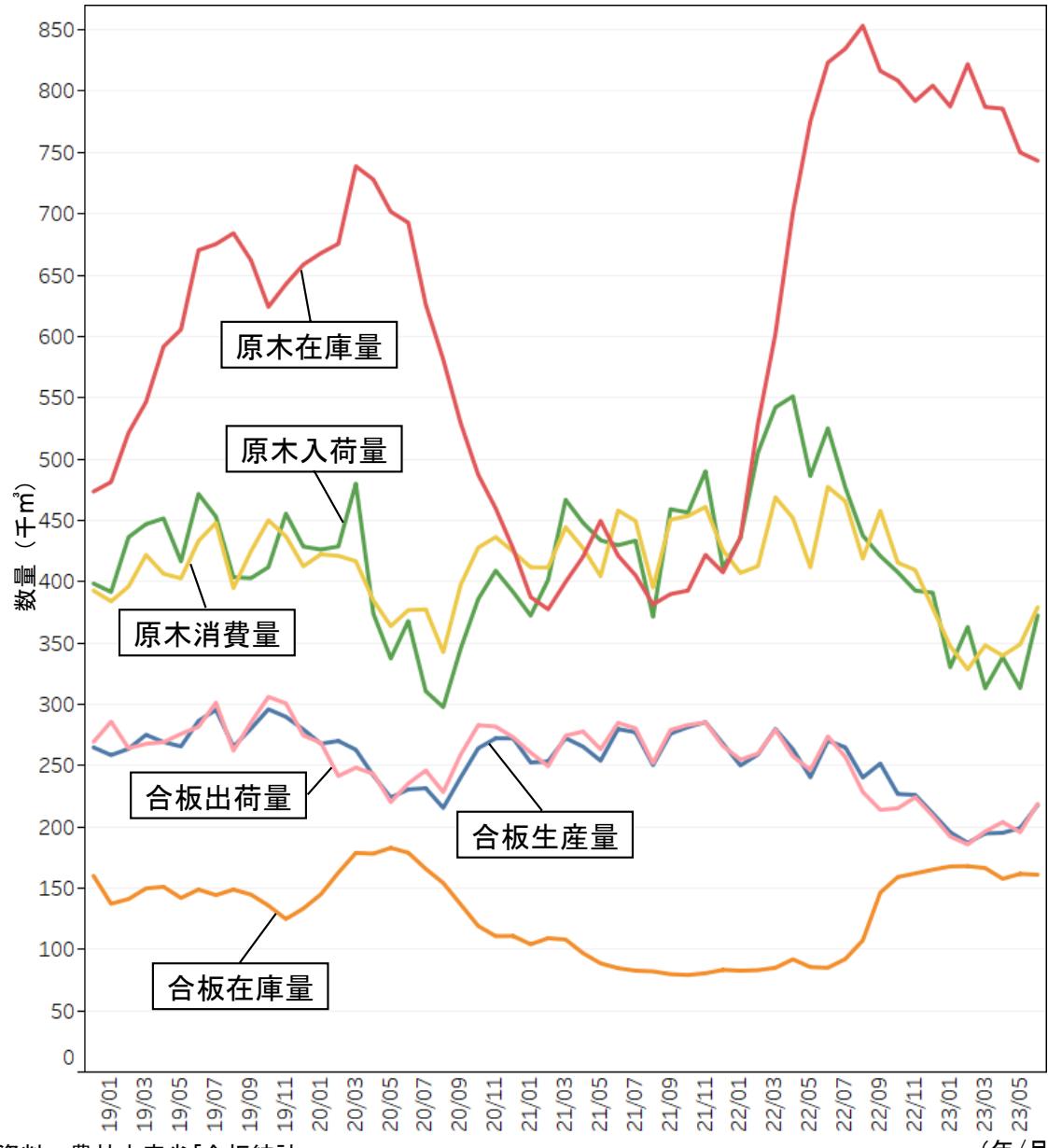


	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
1～6月原木入荷量合計(千m <sup>3</sup> )	8,455	8,794	7,818	8,155	8,639	8,006
2019年との比較※	96%	—	89%	93%	98%	91%
1～6月製材品出荷量合計(千m <sup>3</sup> )	4,498	4,575	4,061	4,412	4,350	4,056
2019年との比較※	98%	—	89%	96%	95%	89%

※コロナ禍前の2019年の数値を100%とした比較

## (2) 合板 (全国)

- 2023年1～6月の原木の入荷量は2,030千m<sup>3</sup>（2019年比78%）。
- 同様に合板の出荷量は1,192千m<sup>3</sup>（2019年比73%）。

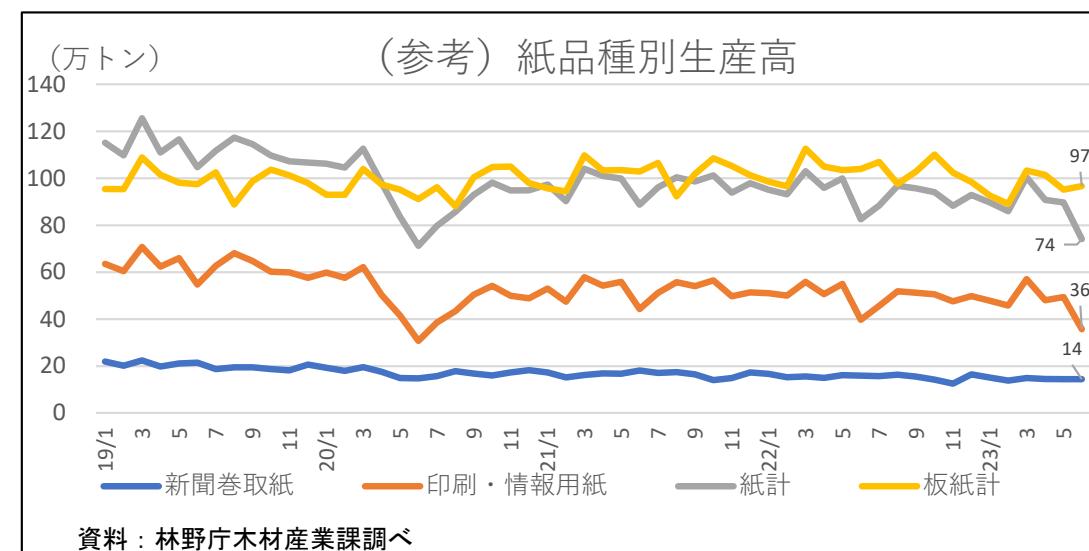
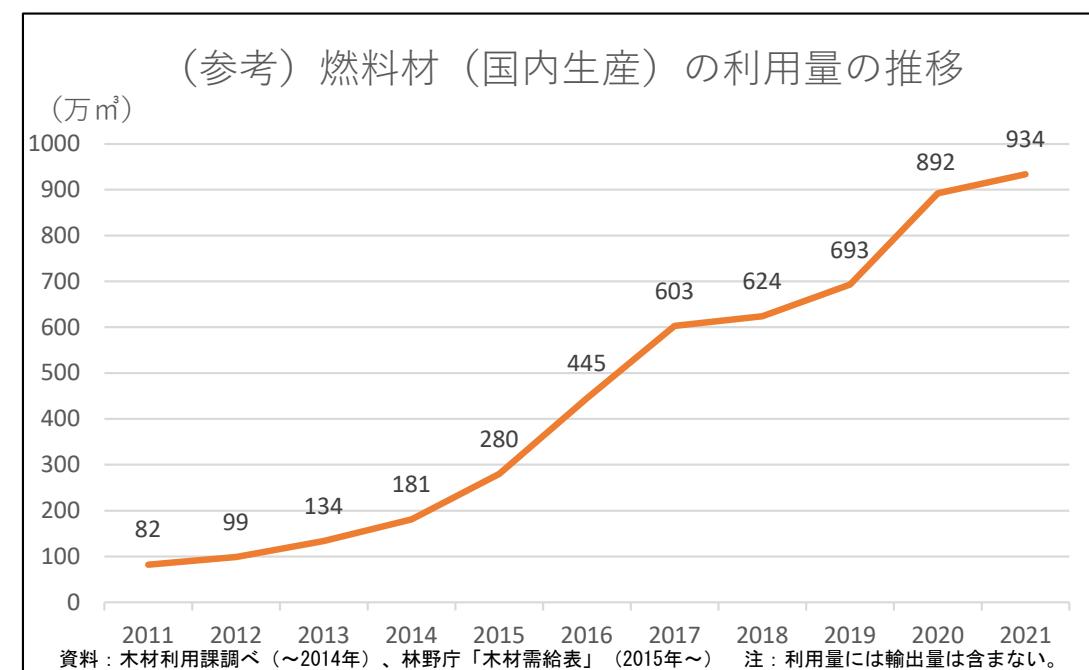
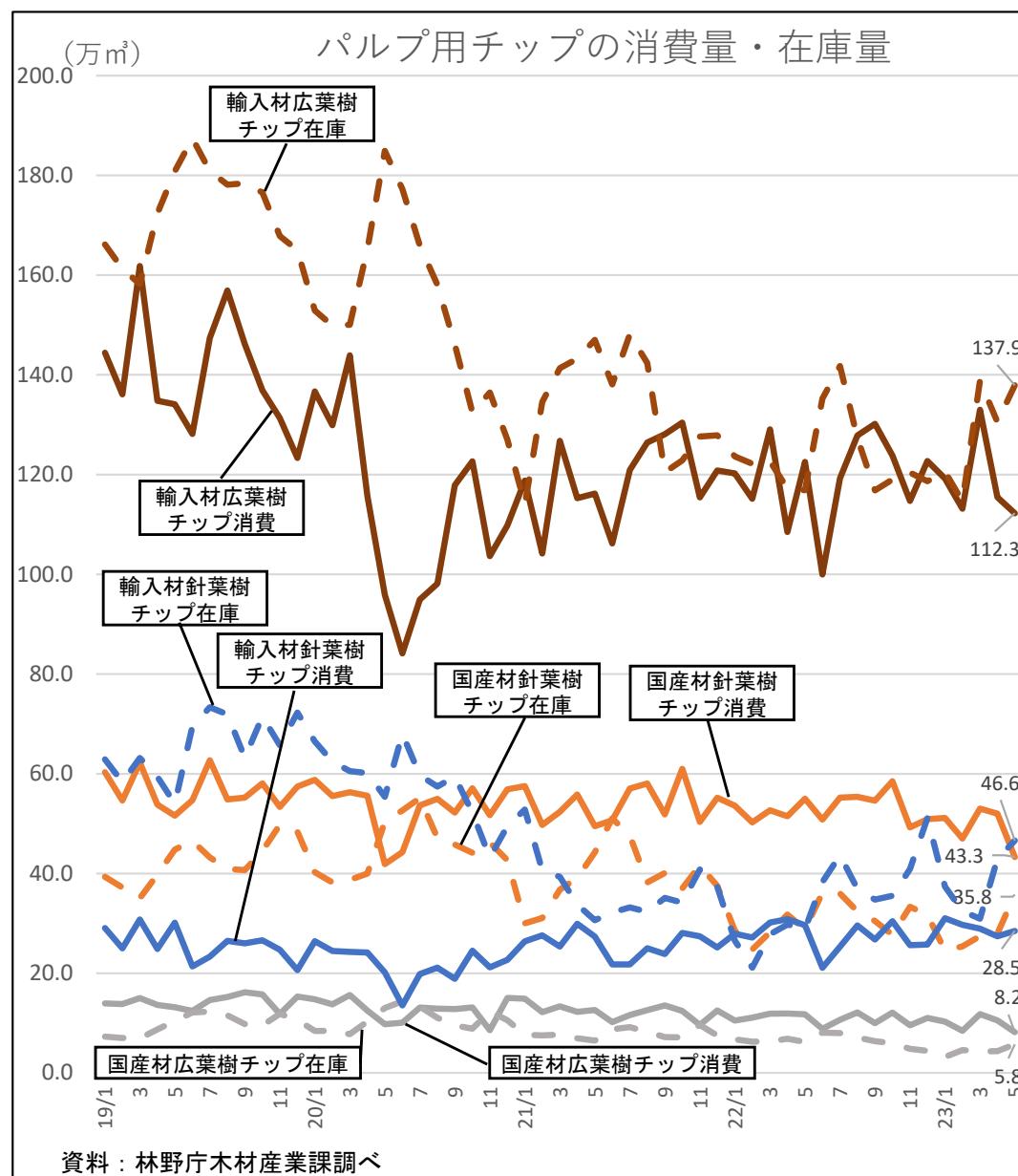


	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
1～6月原木入荷量合計(千m <sup>3</sup> )	2,505	2,614	2,414	2,552	3,045	2,030
2019年との比較※	96%	—	92%	98%	116%	78%
1～6月合板出荷量合計(千m <sup>3</sup> )	1,555	1,644	1,457	1,610	1,571	1,192
2019年との比較※	95%	—	89%	98%	96%	73%

※コロナ禍前の2019年の数値を100%とした比較

### (3) チップ (全国)

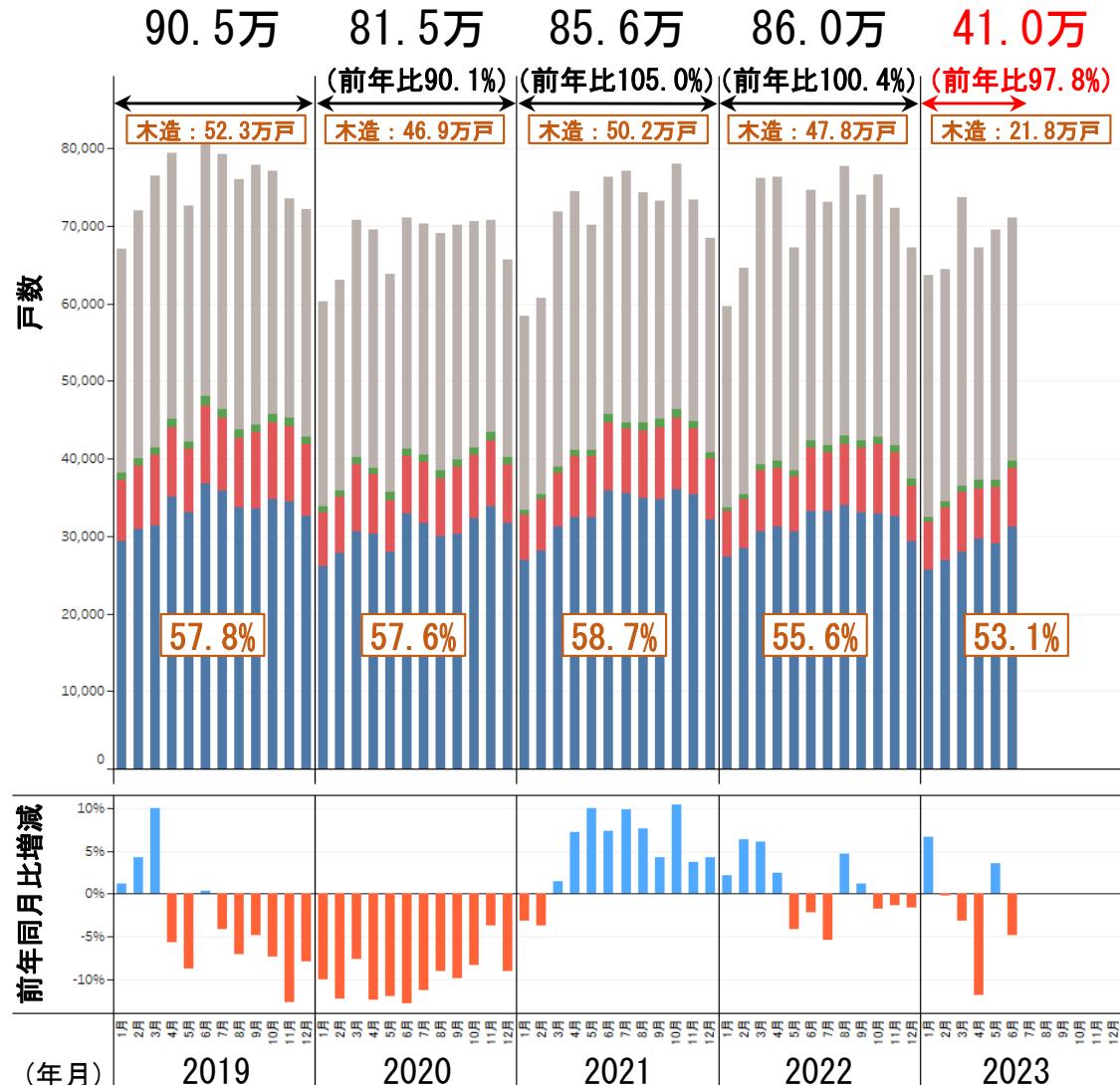
- ・パルプ用チップの消費について、2023年5月の輸入材広葉樹チップの消費量は112.3万m<sup>3</sup>。国産材針葉樹チップの消費量は43.3万m<sup>3</sup>となっている。
- ・燃料材（国内生産）の利用量は、発電利用を中心に増加（過去10年間で約11倍）。



### 3 住宅着工戸数の動向（2019年1月～2023年6月）

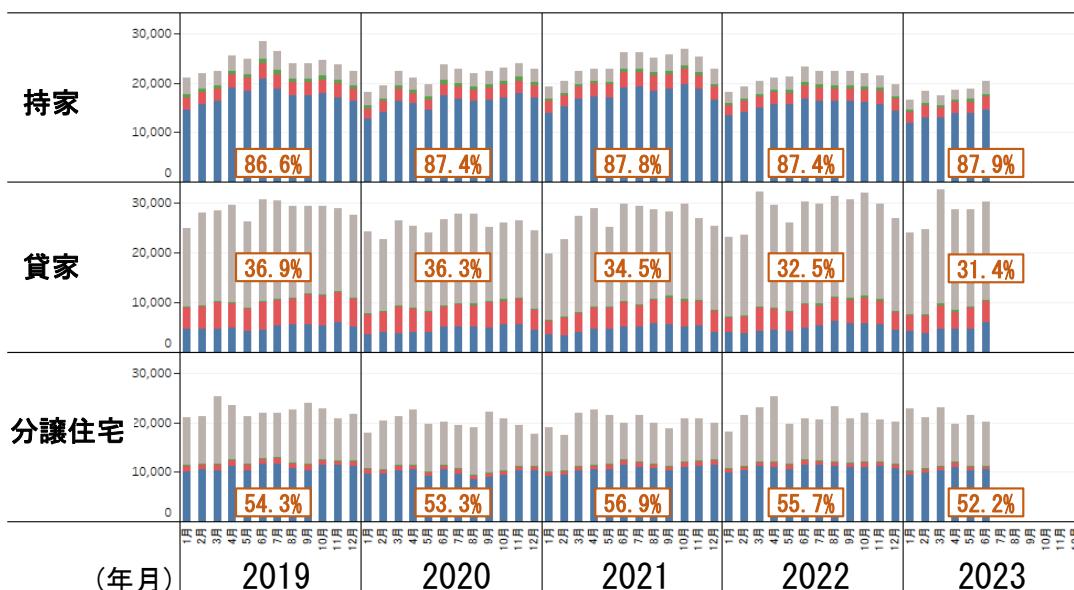
- 2022年の新設住宅着工戸数は、86.0万戸（前年比100.4%）、このうち木造住宅は47.8万戸（同95.1%）となり、2021年の水準を下回った。
- 2023年1～6月の新設住宅着工戸数は、41.0万戸（前年同期比97.8%）、このうち木造住宅は21.8万戸（同95.1%）。

#### 新設住宅着工戸数の推移



構造別の着工戸数	2023年1～6月	前年同期	前年同期比	前々年同期	前々年同期比
合計	409,549	418,559	97.8%	412,010	99.4%
非木造	191,911	189,715	101.2%	176,192	108.9%
木造	217,638	228,844	95.1%	235,818	92.3%
木造プレハブ	5,026	4,514	111.3%	4,751	105.8%
2×4	42,103	42,960	98.0%	44,122	95.4%
在来軸組	170,509	181,370	94.0%	186,945	91.2%
□木造率	53.1%	54.7%		57.2%	

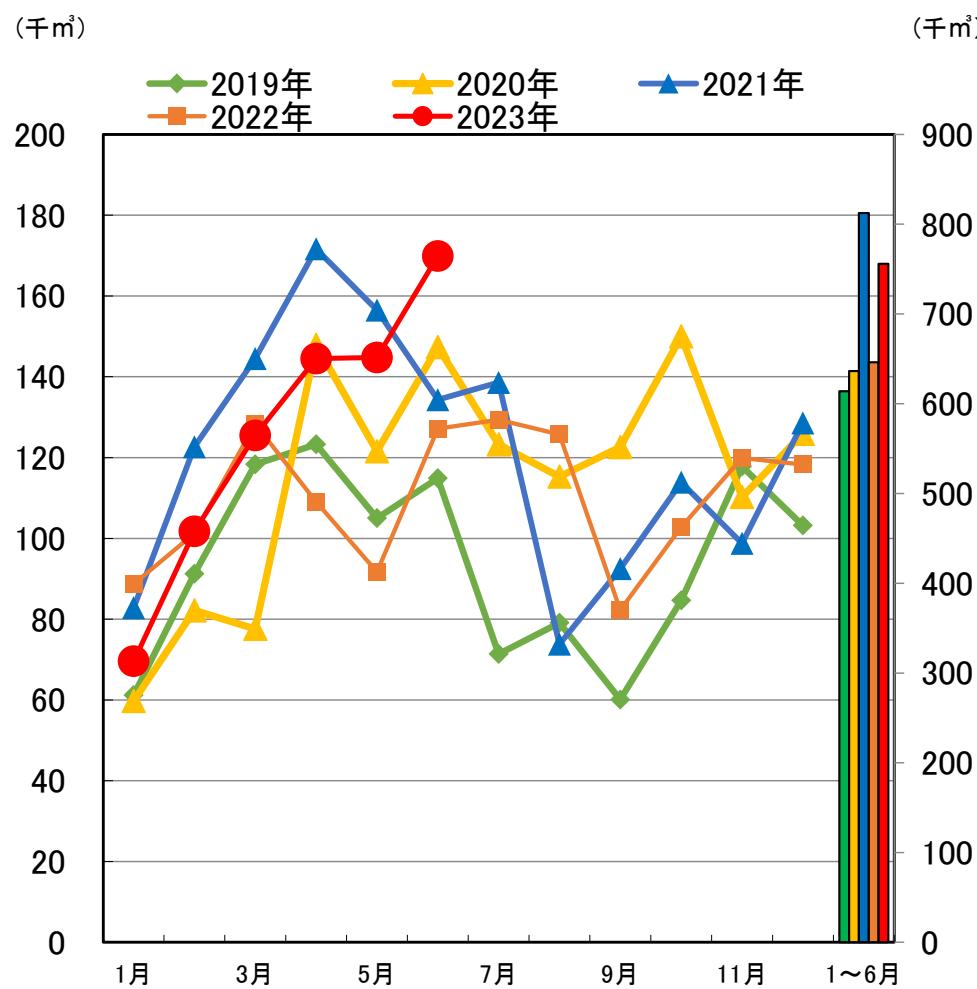
#### （参考）利用関係別の着工戸数（ただし、「給与住宅」を除く。）



## 4 木材輸出量

- 令和5年6月単月の木材輸出量は丸太170千m<sup>3</sup>（前年同月比134%）、製材13千m<sup>3</sup>（前年同月比84%）、合板9千m<sup>3</sup>（前年同月比84%）となった。

○丸太輸出量の推移（月別）



資料：財務省易統計

※貿易統計の第4403, 4407, 4412の一部類を集計

※四捨五入により、数値が合わないことがある

○木材輸出量の状況（累計：主な国別・品目別）

輸出先	6月 単月			1~6月累計		
	主要品目内訳(千m <sup>3</sup> ) 前年比(%)			主要品目内訳(千m <sup>3</sup> ) 前年比(%)		
	丸太	製材	合板	丸太	製材	合板
中国	159 145%	5 100%	0 30%	664 124%	27 80%	1 39%
韓国	4 51%	1 101%	0 8%	49 77%	4 84%	0 15%
台湾	6 88%	2 107%	0 —	39 89%	9 110%	0 —
米国	0 —	3 84%	0 0%	0 —	16 69%	0 6%
フィリピン	0 —	1 35%	9 87%	0 —	6 20%	57 92%
その他	0 —	1 264%	0 644%	0 —	3 108%	0 59%
総計	170 134%	13 84%	9 84%	756 117%	65 63%	59 89%

○税関ごとの丸太輸出量

税関名	管轄※	合計(千m <sup>3</sup> ) 1~6月	比率 1~6月
函館税関	北海道, 青森, 岩手, 秋田	126.3	16.7%
東京税関	山形, 群馬, 埼玉, 千葉, 東京, 新潟, 山梨	10.7	1.4%
横浜税関	宮城, 福島, 茨城, 栃木, 千葉, 神奈川	9.4	1.2%
名古屋税関	長野, 岐阜, 静岡, 愛知, 三重	6.5	0.9%
神戸税関	兵庫, 鳥取, 島根, 岡山, 広島, 徳島, 香川, 愛媛, 高知	7.0	0.9%
大阪税関	大阪, 京都, 和歌山, 奈良, 滋賀, 福井, 石川, 富山	10.5	1.4%
門司税関	山口, 福岡, 佐賀, 長崎, 大分, 宮崎	207.3	27.4%
長崎税関	福岡, 佐賀, 長崎, 熊本, 鹿児島	378.2	50.0%
沖縄地区税関	沖縄	0.0	0.0%

※木材の集荷範囲とは対応していない